

ごみ処理施設整備運営事業

住民説明会

平成29年9月2日

桑名広域清掃事業組合

目次

I	ごみ処理施設整備運営事業の概要	
	＜事業の経緯＞	
	・はじめに	・・・ 3
	・基本的事項の方針（6項目）	・・・ 4
	・これまでの経緯	・・・ 5
	＜事業の概要＞	
	・基本コンセプト	・・・ 7
	・事業概要の現況との比較	・・・ 8
	・新施設稼動前後の変更点	・・・ 9
	・ごみ処理の流れの比較	・・・ 10
	・新施設のごみ処理の仕組み	・・・ 11
	・ストーカ式焼却とは	・・・ 12
	・公害防止基準	・・・ 13
	・騒音、振動対策	
	悪臭対策 排水対策	・・・ 14
	・DBO方式とは	・・・ 15
	・事業費について	・・・ 16
	・事業スキーム図	・・・ 17
	・新施設建設地	・・・ 18
	・完成予想図	・・・ 19
II	工事の概要	
	・工事のあらまし	・・・ 23
	・工事工程	・・・ 24
	・工事期間中の	
	安全対策について	・・・ 25
	・周辺道路の通行について	・・・ 26
	・工事期間中の	
	環境対策について	・・・ 27
	・工事進捗のお知らせについて	
		・・・ 28
	○最後に	・・・ 29

I ごみ処理施設整備運営事業の概要

はじめに

- 桑名広域清掃事業組合では、資源循環型社会の実現に向け、可燃ごみをごみ固形燃料（RDF）化という手法で処理しています。
- 平成23年4月 三重県は、平成32年度末に県主体のRDF焼却・発電事業を終了することを決定しました。
- 平成23年5月 組合は、ごみ処理のあり方の検討に取り掛かりました。
- 平成25年8月 組合は「ごみ処理のあり方調査・報告書」を作成し、「基本的事項の方針（6項目）」を決定しました。

新たなごみ処理のあり方に関する 基本的事項の方針（6項目）

- 1 共同処理区域(組合構成市町)は、桑名市・木曽岬町・東員町とします。
- 2 RDF化事業継続が新処理方式採用の選択は、新処理方式を採用します。
- 3 RDF化施設以外の既存施設(リサイクルプラザ、プラスチック圧縮梱包施設、管理棟)は、新施設稼働後も活用します。
- 4 新施設建設地は、旧焼却施設の跡地とします。
- 5 最終処分先は、民間委託とします。
- 6 ごみ収集主体（市・町）は、現況維持とします。

これまでの経緯（１）

○環境影響評価（環境アセスメント）の実施

平成27年 5月	方法書の公告・縦覧 住民説明会
平成28年 6月	準備書の公告・縦覧 住民説明会
平成29年 1月	評価書の公告・縦覧

○ごみ処理施設整備計画

平成27年 6月	パブリックコメント（意見公募）の実施 住民説明会
平成27年 9月	ごみ処理施設整備計画の策定

これまでの経緯（２）

○事業者選定（入札）

平成28年 4月	実施方針の公表
平成28年 8月	入札公告
平成29年 3月	落札者の決定
平成29年 5月	事業に関する契約の締結

○第三者組織の設置

上記に記載した手続き等について、ごみ処理施設整備の検討委員会・専門委員会を設置し、審議、チェックをうけて進めてきました。

基本コンセプト

① 安全・安心で
信頼される
施設

② 地球環境に
配慮した施設

③ 未利用
エネルギー
の有効活用

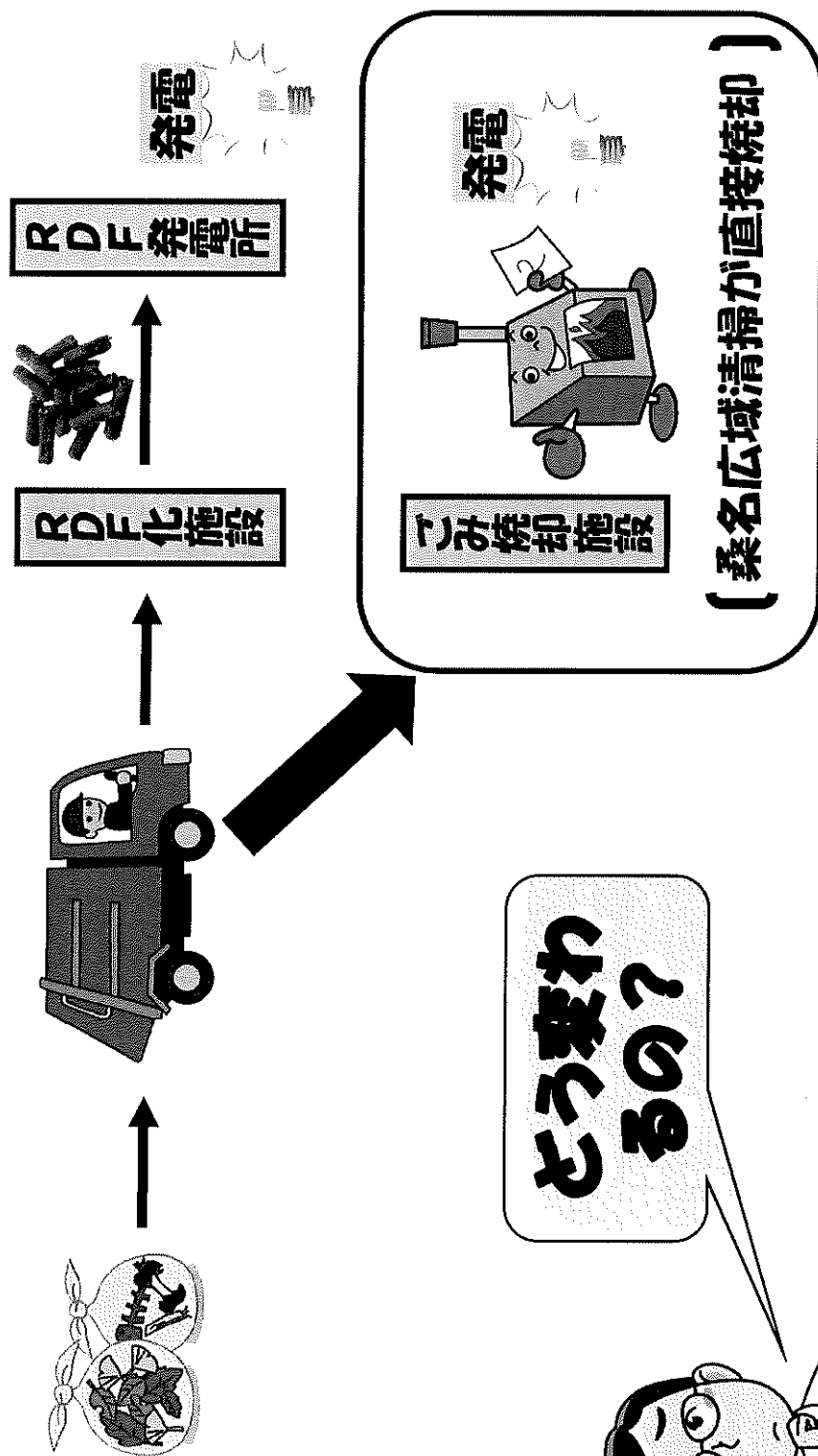
④ 経済性に
優れた施設

⑤ 地域に
親しまれる
施設

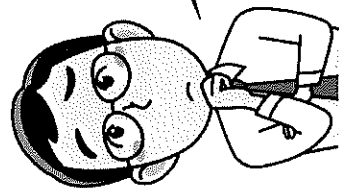
事業概要の現況との比較

	現況 (RDF化施設)	新施設
共同処理区域 (構成市町)	桑名市、木曽岬町、東員町、いなべ市(旧員弁町分)	桑名市、木曽岬町、東員町
処理能力	230t/日(16時間)	174t/日(24時間)
処理方式	ごみ固形燃料(RDF)化	ストーカ式焼却
余熱利用	—	発電(年間発電量の約60%を売電)
灰処理	—	セメント原料として100%資源化
事業方式	設計・建設と管理運営を個別に発注	DBO方式 設計・建設・管理運営を一括発注

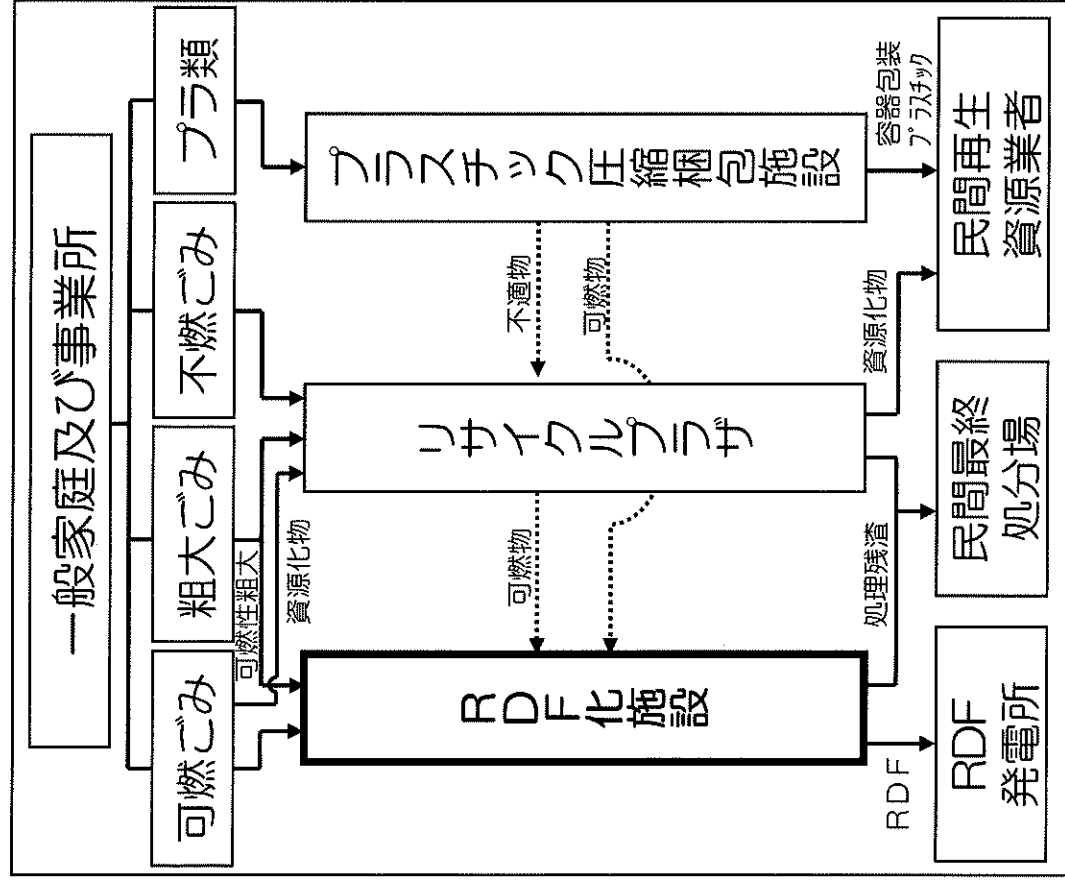
新施設稼動前後の変更点（イメージ）



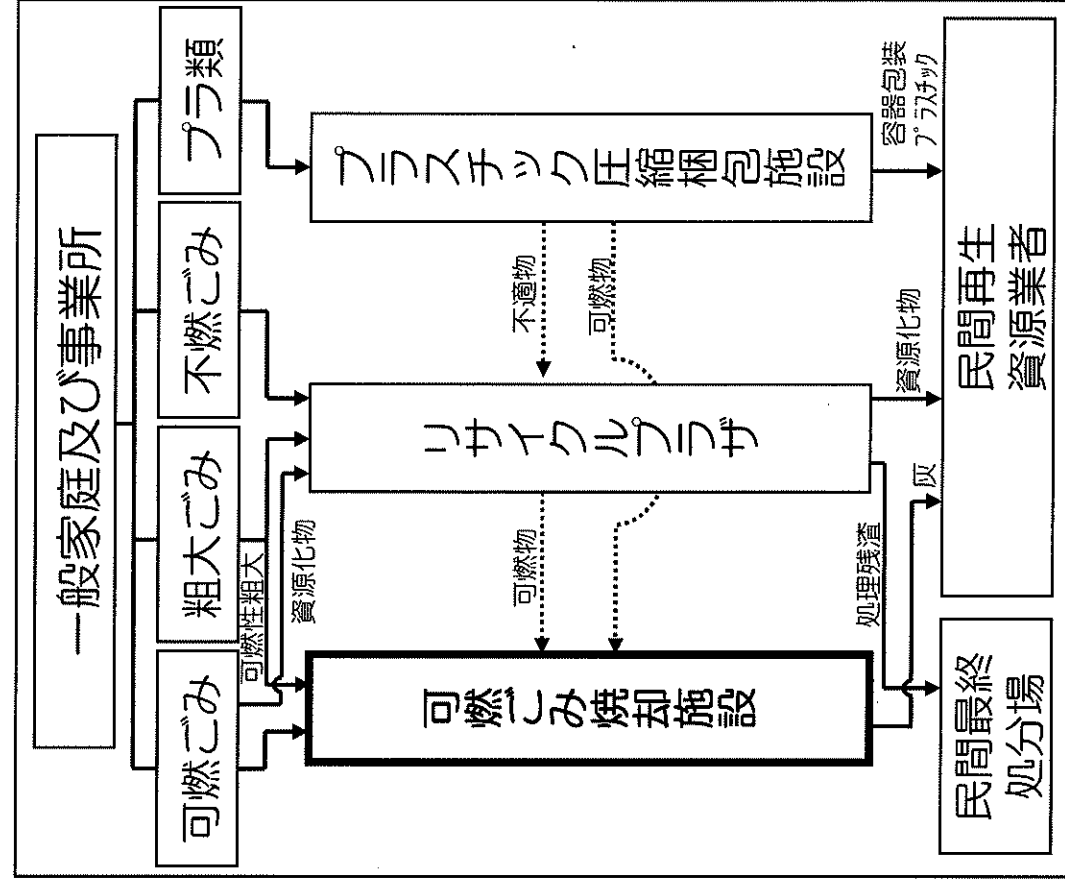
どう変わるの？



ごみ処理の流れの比較

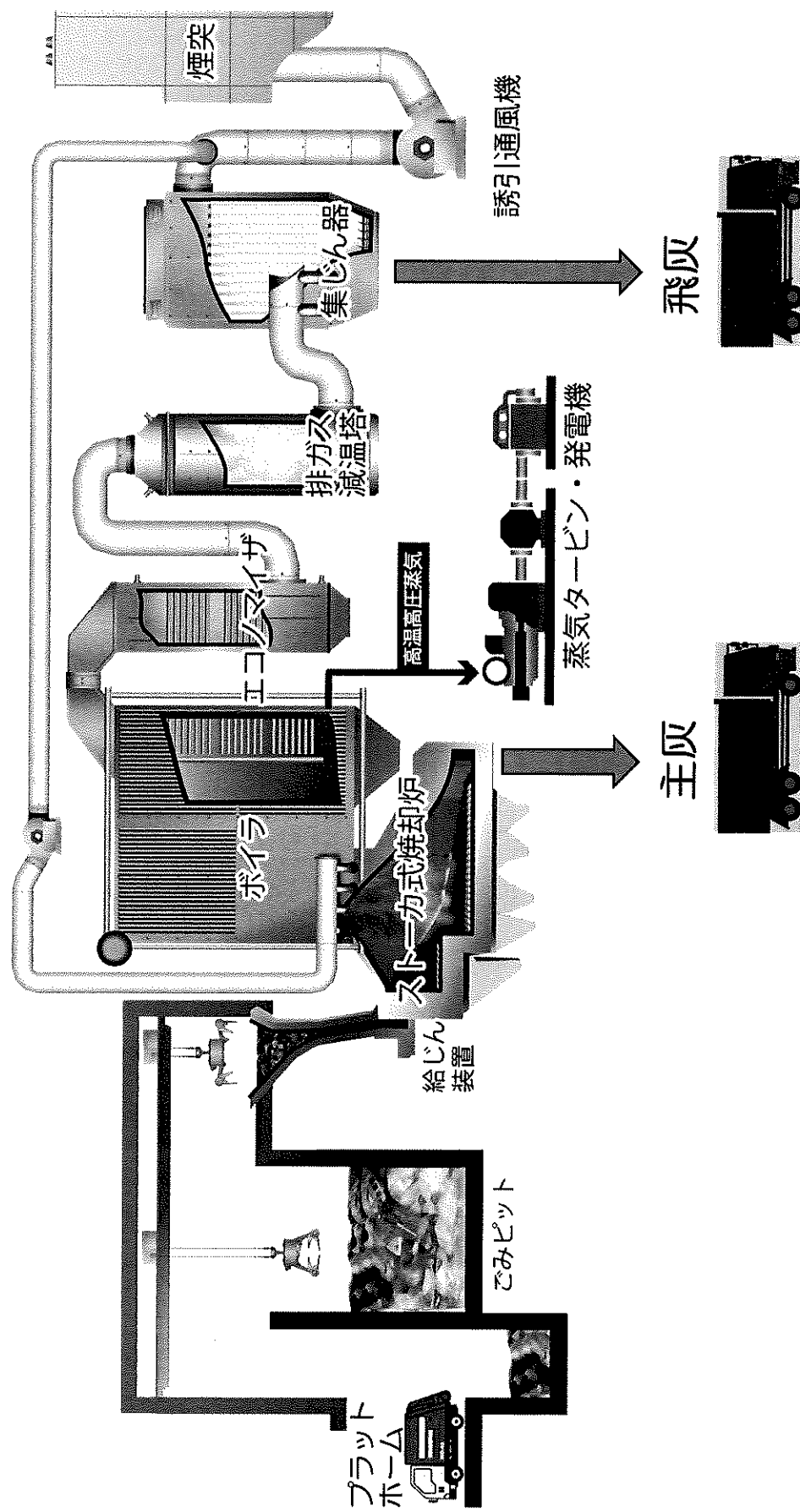


現況のごみ処理の流れ



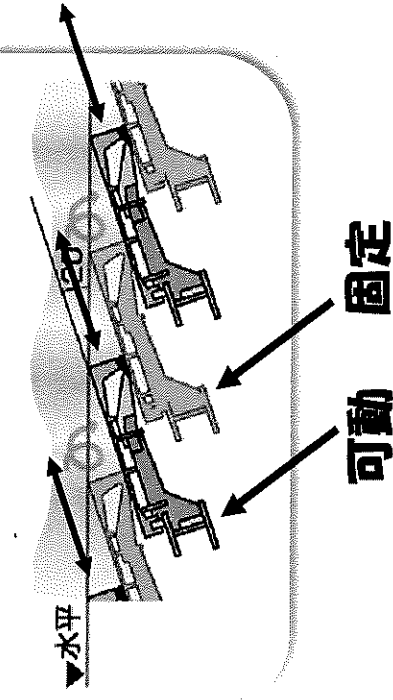
新しいごみ処理の流れ

新施設のごみ処理の仕組み（イメージ）

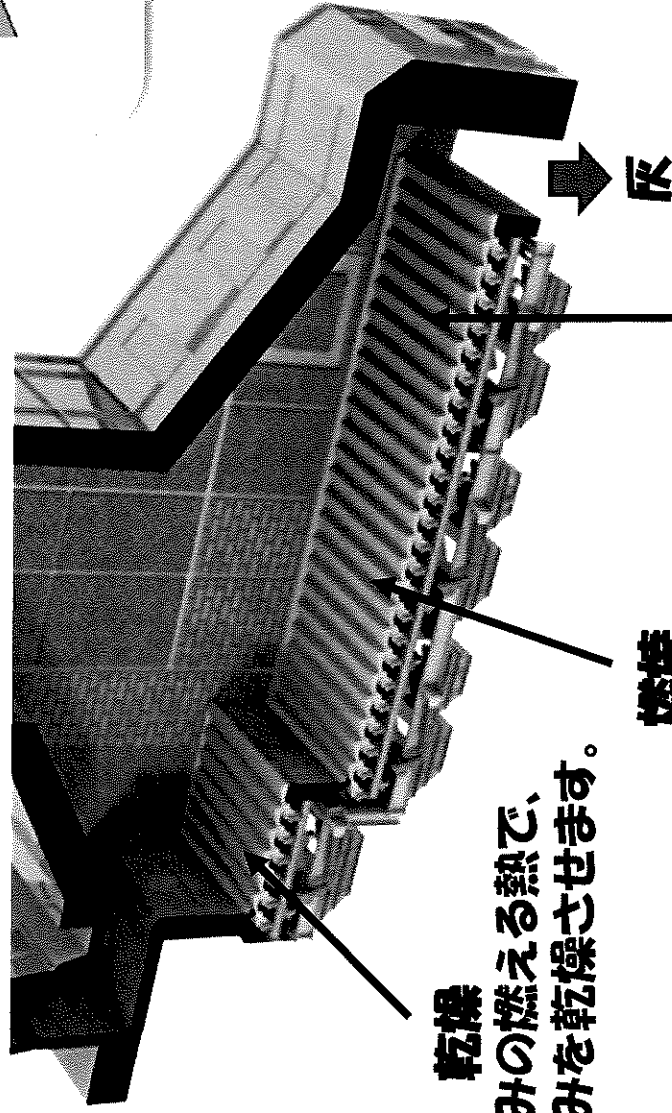


ストーカ式焼却とは

火格子断面図



ごみ
排ガス



乾燥
ごみの燃える熱で、
ごみを乾燥させます。

燃焼
乾燥させたごみを
高温で燃やします。

後燃焼
灰中の燃え残りが無いように
燃やし切ります。

公害防止基準

大気汚染物質	単位	法令等 規制値	組合 管理値	要監視 基準値	運転 基準値
ばいじん	g/Nm ³	0.08	0.01	0.007	0.005
硫酸化合物	ppm	約2800	20	18	15
窒素化合物	ppm	250	50	45	40
塩化水素	ppm	約430	30	25	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/N m ³	1	0.1	※	※
一酸化炭素(4H)	ppm	30	30	20	15
水銀	mg/Nm ³	0.03	0.03	0.02	0.01

※ダイオキシン類は連続測定しないため、要監視基準、運転管理値の設定はありません

騒音、振動対策

- ・騒音発生源となる蒸気タービン、低圧蒸気復水器、機器冷却水冷却塔は、敷地の概ね中央に配置し、防音材等を施します。

悪臭対策

- ・機密性を高めた建築構造とします。
- ・プラットホーム出入口の二重化（風除室設置）し、同時に開かない構造とし、風の吹抜けによる臭気の漏れを防ぎます。
- ・ごみピット内の空気を炉内に吸い込み高温で燃やします。

排水対策

- ・プラント排水は施設内で再利用し、外部に排出しません。
- ・生活排水は、浄化槽で適切に処理し、放流します。

DBO方式とは

Design（設計）、Build（建設）、Operate（運営）を一括して発注する事業方式。本事業では、施設整備（設計・建設）のあと、既存施設を含め、20年間の運営（運転・維持管理）が民間事業者によって行われます。

設計・建設期間：平成29年5月26日～平成31年12月31日
管理・運営期間：平成32年1月1日～平成51年12月31日

DBO方式のメリット

- ・一括発注により、20年間の運営事業費も削減
- ・民間の高度な技術、人材を最大限活用
- ・長期間の契約による安定的な運営

事業費について

契約金額（税込み）

設計建設費：12,796,920,000円

管理運営費：10,300,504,137円（20年間総額）

設計建設費財源内訳

国庫支出金（交付金）：約36億円

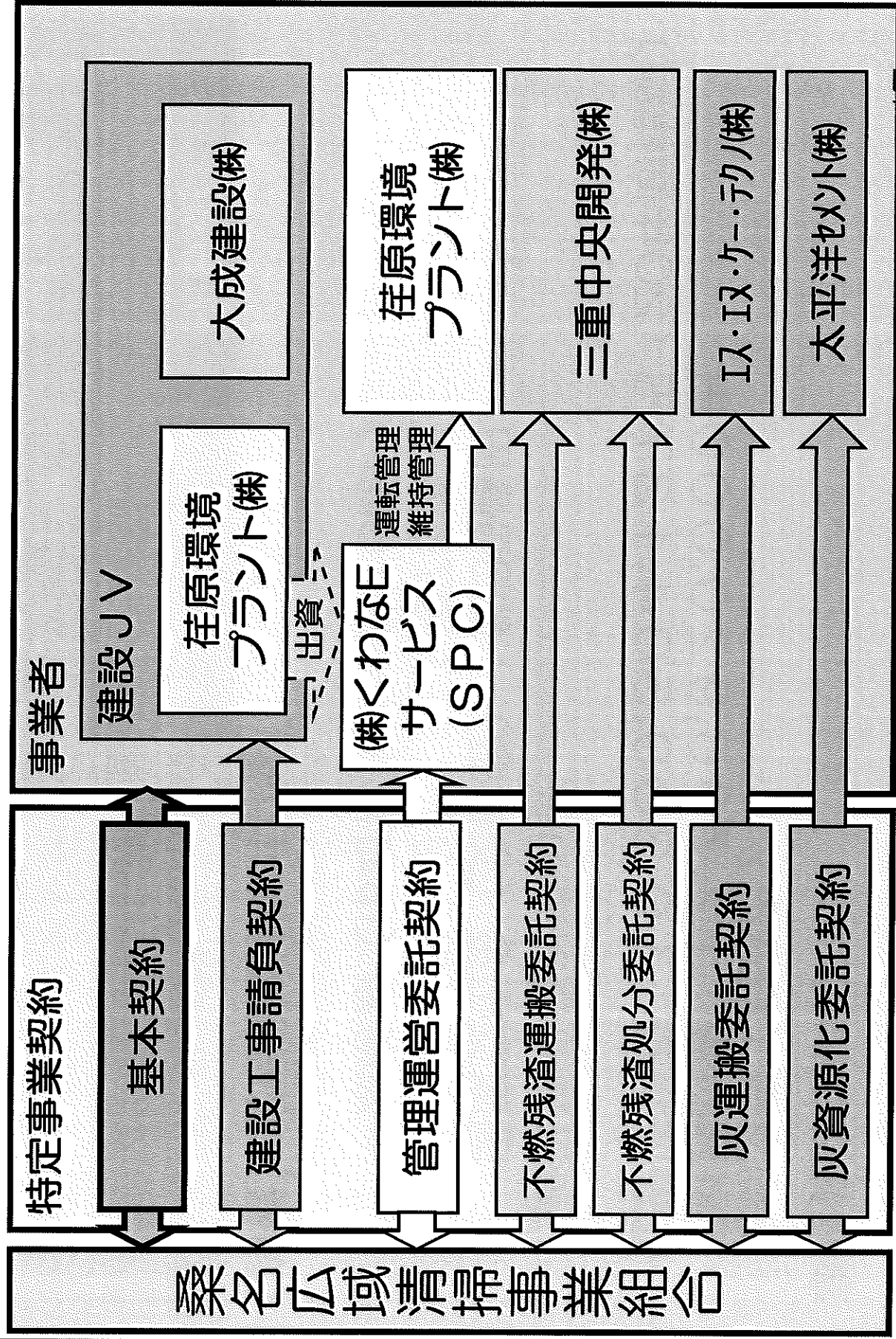
地方債（借入金）：約76億円

一般財源（市町税）：約16億円

【参考】管理運営費の比較

新施設	現況
管理運営費総額＋借入金の返済総額 20年	H29年度予算
約9億円/年（平均）	約20億円/年

事業スキーム図



新施設建設地

新設

①可燃ごみ焼却施設

既存施設（継続活用）

②リサイクルプラザ

③プラスチック圧縮梱包施設

④管理棟

《参考》

⑤RDF化施設

⑥RDF発電所（県営施設）



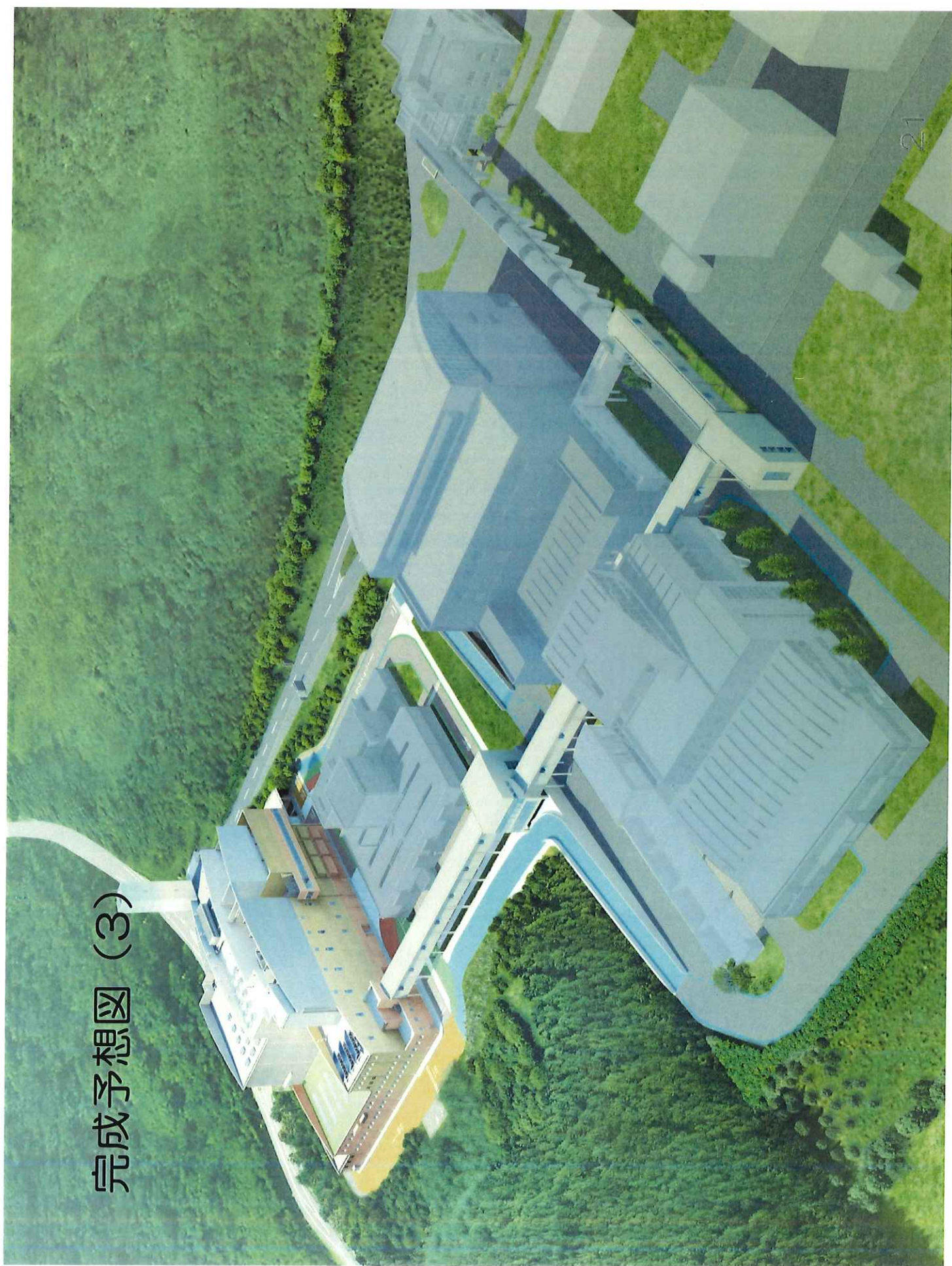
完成予想図 (1)



完成予想図 (2)



完成予想図 (3)

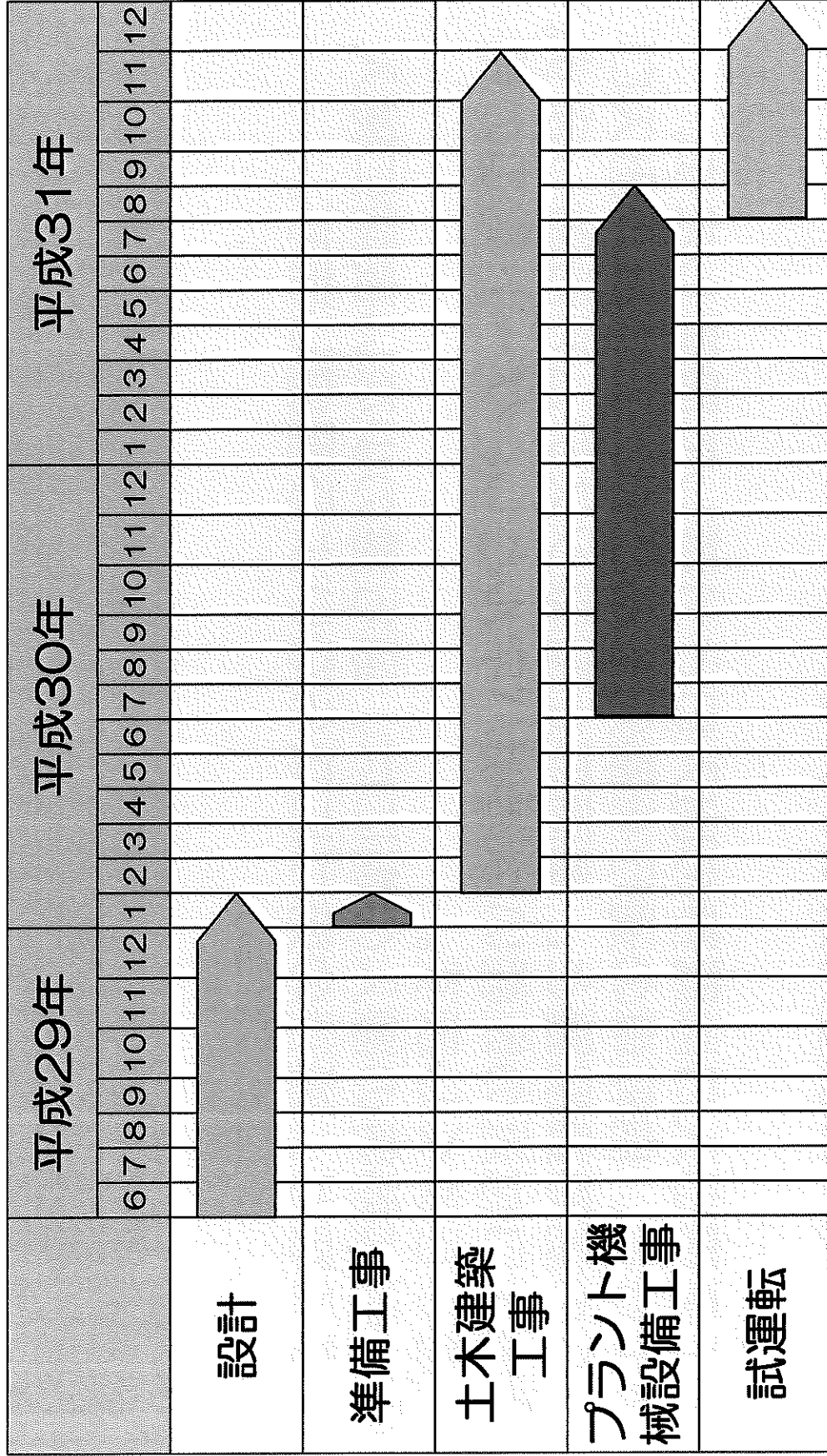


Ⅱ 工事の概要

工事のあらまし

工事名：可燃ごみ焼却施設整備工事
施工者：荏原・大成特定建設工事共同企業体
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
一部 鉄筋コンクリート造
一部 鉄骨造
地上6階建て
建築面積 約 5,000㎡
延床面積 約11,000㎡
工期：平成29年5月26日～平成31年12月31日

工事工程



工事期間中の安全対策について

- ①工事用出入口は既存の出入口と分離して設置します。
- ②歩行者、自転車の通行を優先するため、工事車両出入口への誘導員配置と、車両停止警報システムを設置します。
- ③出入口付近の仮囲いは透明パネルとし、ゲート周辺の見通しを良くします。
- ④大型機器等の搬入の際には、通行量の少ない夜間に搬入するなど、通行の妨げにならないよう配慮します。

周辺道路の通行について

- ①通勤通学時間帯である7：30～8：30は工事関係車両の入退場を制限します。
- ②工事車両は城山方面と多度方面に分散します。
- ③周辺道路への待機車両が生じないよう、待機場所を確保し、追突事故等の防止を図ります。
- ④ごみピットの二段化や、地下空間を極力無くす計画とし、掘削土量を6,000m³（ダンプロトラック約1,000台分）削減し、工事車両を少なくします。
- ⑤工事車両台数は、詳細は実施設計後となりますが、工程により最大120台/日程度、平均では50台/日程度と想定されます。
- ⑥ダンプロトラックには、本工事の車両であることを示すゼッケンをつけ、安全運転を励行します。

工事期間中の環境対策について

- ①低騒音型・低振動型建設機械を使用し、騒音や振動を最大限低減します。
- ②工事現場から場外へ退出する車両は、必要に応じて、タイヤ洗浄を行い、周辺道路が汚れないようにします。
- ③週1回、現場周辺の道路清掃を行い、環境美化に努めます。
- ④地下工事等の濁水等は、ノッチタンク、pH処理装置で適切に処理してから放流します。

工事進捗のお知らせについて

- 工事現場出入口付近に一週間の作業予定について掲示してお知らせします。
- 工事の進捗等については、組合ホームページや「ごみ処
理施設整備ニュース」を発行し、随時お知らせします。
- 自治会単位での工事進捗の報告会や、工事予定の回覧な
ど、ご要望に応じて対応いたします。

最後に

工事中も、ごみ受入は行いますが、工事の進捗に伴い、場内で車線規制等が発生することがあります。

安全安心で地域の皆様に親しみを持っていただける施設となるよう、努力してまいります。

工事中は、たいへんご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。